



フリートークの様子

オーダーメイド就職セミナー

5月24日、市役所への就職を希望する人などを対象に、オーダーメイド就職セミナーを開催しました。

申し込みのあった23人が、聞きたい内容を事前にオーダー。それに応じた職員とフリートークを行う、初めての試みです。セミナー後のアンケートでは「実際に働く職員に、直接聞きたいことを質問でき、仕事の内容が理解できた」「可児市を盛り上げていきたい」と意欲を持ったコメントが寄せられました。

マレーシア大会入賞報告

5月31日、県立加茂高等学校3年生の**一瀬花帆**さん（今渡在住）がサイエンスキャッスル・マレーシア大会でベストアワード賞を受賞したことを市長に報告しました。

「ミドリゾウリムシの謎に迫る！」をテーマにポスター発表部門に出場した一瀬さんは「英語で作ったポスターをブースへ訪れる人に何回も英語で説明して、だんだん緊張がほぐれた」とそのときの様子を語りました。市長からの質問も英語で受けた一瀬さん。好きな外国語を生かしたこれからの活躍を期待しています。



一瀬さんと市長



学芸員の話聞く参加者

蘭丸祭を開催！

6月2日、森蘭(乱)丸をしのぶ蘭丸祭が可成寺（兼山）で開催されました。烏峰太鼓の演奏に始まり、田中旭景氏らによる筑前琵琶の奉納演奏、市学芸員による歴史講話や甲冑の試着コーナーがあり、全国の蘭丸ファンなど多くの人で賑わいました。

歴史講話では、蘭丸が生誕し城主となった美濃金山城跡から出土した瓦の紹介もあり、参加者は実物にふれながら興味深げに学芸員の説明に聞き入っていました。

おとなも子どもも放水はじめっ！

5月26日、第38回可児市消防操法大会が市役所駐車場で行われました。市内16部の消防団員が4月から訓練した成果を披露。選手はきびきびとした動きで消火までのそれぞれの役割をこなし、放水時には観客から大きな歓声があがりました。

また、女性消防分団が行う消火体験や携帯トイレ体験などのブースに、岐阜医療科学大学可児キャンパスの大学生12人がボランティアとして参加。訪れた親子などに初期消火や防災の大切さを伝えました。

優勝した第3分団第2部（春里東南部）は8月4日に飛騨エアパーク（高山市）で行われる県大会に出場します。「安全に消火活動が行えるよう、県大会に向けた訓練も頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。



操法を披露する選手



水消火器を使って消火体験



産湯の井戸跡を巡る参加者

歩いて、学んで、可児を知る！！

5月15日、光秀ゆかりの地を巡る「第1回明智光秀ウォーキング」を、明智荘を見つめる会と可児市観光協会が共同で開催しました。イベントは、市内外の人に光秀生誕地・可児をPRする目的で行われ、150人が参加しました。

参加者からは「来年の大河ドラマがとても楽しみ。可児という地名を全国の方に知ってもらいたい」などと期待の声があがりました。

災害に対する備えはできていますか？

6月2日、豪雨による災害発生を想定して市内各地で水防訓練が実施されました。

この日、前波自治会（中恵土）では、危険箇所の確認や簡易トイレの組み立てなどが行われ、参加者は「地域住民同士の協力は重要」「いざという時に行動が取れるよう訓練することが大切」などと防災への意識を高めました。

いつ起きるか分からない災害に備えて、皆さんの家庭でも、できることから準備をしましょう。



ハザードマップを用いて危険箇所を確認する参加者

国籍超えみんなで交流

5月19日、ふれあいパーク・緑の丘で「多文化共生フェス 可児市だよ！全員集合！！」が開かれました。国籍を問わず地域の関わりを深めたいと、可児青年会議所が初めて企画。およそ500人が参加しました。

イベントではパン食い競争やミニサッカーなどのほか、ゴミ分別競争にも挑戦。ビンや缶、生ゴミなどに見立てたボードを正しいと思うボックスに入れながら、日本の細かい分別方法を楽しく学びました。



正しい分別ボックスはどれかな？